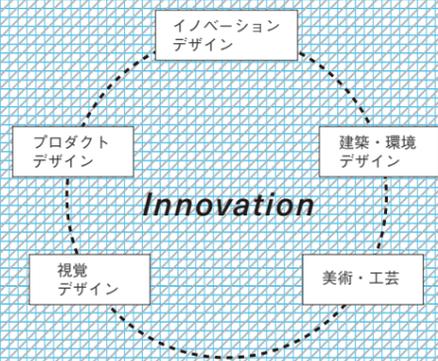


**Nagaoka Institute of Design
Graduate School**

長岡造形大学大学院



新たな価値の創造を 目指しイノベーションの トビラをひらく

Innovator

イノベーション = 人間的豊かさの源となるさまざまなモノやコトを対象に、デザインプロセスを通じて、問題やニーズの本質をとらえた新しい価値を創造することにより、生活や文化や産業に際立ったよい変化をもたらすこと

長岡造形大学大学院では、未来創造型実践カリキュラムを通して、デザイン専門大学として培ってきた確かな表現力、造形力を基礎に、一歩先の未来を見据えた「新しい価値を創造する力」の修得を目指していきます。

また、修士課程にはイノベーションを構想・実現するための実践的手法を探究する「イノベーションデザイン領域」を新たに設置し、長岡造形大学のイノベーション創出を牽引していきます。

修士課程の2年間で、専門能力を深化させ、さらに新たな価値を創造する力を身につけるため、1年次早期にその土台となる基礎科目や専門科目を修得するカリキュラムを編成しています。そのため、1年次後期からは、基礎研究をはじめとし、自らの研究にじっくりと向き合う時間を創出します。また、論理的で的確な文章表現による論文を作成するために、2名体制の教員により研究指導を受けることができます。

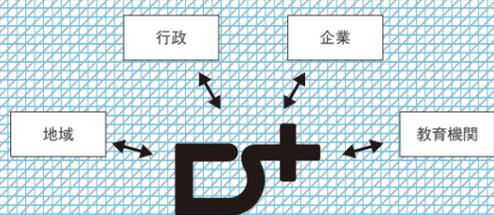
博士(後期)課程の3年間は、デザインに関する研究者として自立するため、多角的な視点からデザインを捉え研究を深化させます。

理論と実践の両面から研究を探究する専門家のトビラがひらかれます。

学部 → 大学院 → 専門家
オープンイノベーター

じっくりと研究に 向き合い専門家の トビラをひらく

Specialist



「実践」が 未来の トビラをひらく鍵

PBLによる実践教育

デザインの実践者は、広い視野に立ち問題の本質を捉え、試行を繰り返すことで、その問題の解決を図るという一連のプロセスを潜在的に行っています。長岡造形大学大学院では、このデザインプロセスを体系的に整理した「デザイン思考」を学び、実プロジェクトによるPBLを通して、その応用を実践していきます。地方都市・長岡ならではのプロジェクトから、全国にまたがるプロジェクトまで社会が求める多岐にわたるテーマに取り組んでいます。

また、企業等での実務を経験することで社会性を養い、将来のキャリアパスを広げる「実務実習」や、自ら歩み出すための力を養成する「起業演習」を通して、未来を見据えて自らと向き合う機会を創出していきます。

未来創造型実践大学院

造形研究科 造形専攻

博士(後期)課程 入学定員 3人

造形理論領域

取得学位/博士(造形)

修士課程 入学定員 15人

イノベーションデザイン領域

プロダクトデザイン領域

視覚デザイン領域

美術・工芸領域

建築・環境デザイン領域

取得学位/修士(造形)

全領域にまたがる 「デザイン思考」ベースの イノベーション教育

IDEO、スタンフォード大学、東京大学 i.school、京都大学デザインスクール、慶応義塾大学など、近年「デザイン思考 (Design Thinking)」を取り入れ、新たな視点から社会を変える動きが注目を集めています。

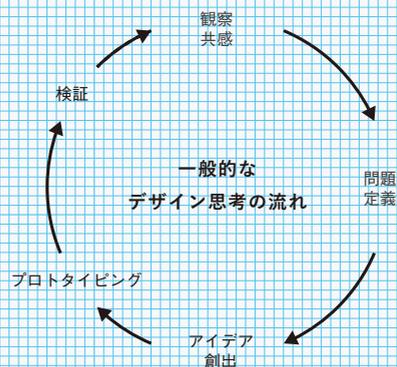
長岡造形大学大学院では、デザイン専門大学の特性を活かし、デザインを実施する者が無意識に行っているデザインプロセスを体系的に整理した「デザイン思考」教育を全領域において実施し、造形にとどまらずサービスや仕組みなどにも目を向けイノベーションの創出を目指し、プロジェクトや研究に取り組んでいきます。



Topic

修士課程 1年 基礎科目群 (必修) イノベーションデザイン特論

デザインの視野を「モノ」から「コト」へ広げ、イノベーション創出に必要なデザイン思考を全領域にて学修します。デザイン思考を網羅的に学ぶことで、各領域でのイノベーション創出の基礎をつくりまします。



PBL をとおして 新たな価値の創造に挑戦

修士課程のプロジェクト科目は、地域社会や企業が抱える問題やニーズに対して、PBL をとおして実プロジェクトに取り組めます。PBL は、2 種類に分類され、いずれもチームを構成し、大学院学生が主体となりプロジェクトを組み立てながら取り組みます。特に、イノベーションデザイン領域の学生は問題発見解決型プロジェクトに取り組み、デザイン思考を基礎として、新たな価値の創造に挑戦していきます。

Project Based Learning 事業ベース型

How to design?

Problem Based Learning 問題発見解決型

What to design?

事業ベース型は、自らの造形分野の専門性を活かし新たな価値の創造に取り組むものです。一方、問題発見解決型は、企業や地域社会が抱える潜在的な問題やニーズを発見し、それらの本質を追求することで新たな視点による解決及び新たな価値の創造に取り組むものです。プロジェクトのイメージは右のとおり。

新しいデザイン大学院で +^{プラス}するもの

学部や社会経験で培った専門性の深化を+(プラス)
「いいモノ」だけではなく「楽しいコト」を提案する考え方を+(プラス)
「いい作品」だけではなく「ストーリー」を提案する感性を+(プラス)
その感性から出発し新たな価値をプロデュースする実践力を+(プラス)

これらの能力を総動員して
未来を創造する力がイノベーション



長岡造形大学大学院は、問題やニーズの本質をとらえた新しい価値を創造することにより、生活や文化や産業に際立ったポジティブな変化をもたらすことを「イノベーション」と捉え、大学院全領域においてイノベーションの創出に挑戦していきます。

大学院造形研究科長
渡邊 誠介



例えば

A 商店の商品パッケージデザインの リニューアル提案の場合

事業ベース型プロジェクト

A 商店の商品の購入層を踏まえ、販売促進につながるデザインを検証し、商品の魅力が伝わるような新しいパッケージデザインを提案することとした。

高いデザインの専門性を活かし、よりよい提案を行います。



問題発見解決型プロジェクト

A 商店と軒を連ねる商店街の店舗を調査し、商店街全体の売り上げが減少しているという問題を発見した。検証の結果、商店街の魅力を向上し、交流人口を増やすことが A 商店の商品の販売促進につながることを考え、商店街の資源を活用したイベントの企画とイノベーションの提案を行うこととした。

一つの解決策ではなく多様な可能性を探ります。



イノベーション + 専門研究

Innovator Specialist

修士課程 Master's Program

基礎科目群	クォーター制を採用し、1科目を8週間で学ぶことで、効率よく基礎的な教養を身につけます。
専門科目群	多彩な10科目から各領域の専門性に合わせた科目を選択します。理論と方法論を深化させ、また専門基礎能力を修得します。
ソーシャルスキル科目群	将来のキャリアパスを描き、社会に対して広い視野をもちながら自らの専門性を深めるために、「実務実習」と「起業演習」のいずれかに挑戦します。
プロジェクト科目群	企業の新製品開発、地域観光の拡充、産業の活性化など、企業や地域社会が抱える様々な問題やニーズに対し、PBLをとおして実プロジェクトに取り組みます。
領域科目群	特別研究の助定期間としての役割を持ち、文献研究を始めとした研究に必要な知識や技能などを身につける基礎研究を行います。

特別研究 (修士論文等)	研究領域に応じた研究主題を設定し、調査・計画・設計等のプロセスを通じて、主題の特性を考慮した研究の方法論を学修します。研究の成果は、論文または作品としてまとめ上げます。
-----------------	--



修了要件

修士課程における修了要件は、次のすべてを満たすものとしています。

- ・本大学院修士課程に2年以上在学すること。
- ・本大学院修士課程の授業科目について30単位以上を修得すること。なお、他大学大学院等における修得単位については、その内容により、本大学院修士課程における修得単位として認められる場合があります。
- ・修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出し、審査及び試験に合格すること。
- ※特定の課題についての研究の成果を提出する場合、研究副論文の提出が必要となります。

キャリアパス

イノベーションデザイン領域

企業の企画開発部門・企画開発製造部門、イノベーションマネージャー、大学事務員、デザインコンサルタント企業、起業、行政、公益団体、博士（後期）課程への進学

プロダクトデザイン領域

大手製品メーカー、メディアアート・先端技術関連企業、起業、博士（後期）課程への進学

視覚デザイン領域

広告代理業（ディレクター、企画部門）、デザイン制作会社、放送局、インターネット関連企業、メディアアート・先端技術関連企業、起業、博士（後期）課程への進学

美術・工芸領域

メーカー、職人、メディアアート関連企業、フリーランス作家、起業、工房主宰、教員、博士（後期）課程への進学

建築・環境デザイン領域

ゼネコン、アトリエ系設計事務所、大手ハウスメーカー、コンサルタント、研究者（教育機関、官公庁）、行政、まちづくり会社、博士（後期）課程への進学

博士（後期）課程 Doctoral Program

造形理論	異なる専門領域の複数教員による指導体制にて多角的な視点を身に付け、その上で自らの研究水準の認識を深め、学位論文の作成につなげます。
------	---

特別プロジェクト研究演習	企業や地域社会等が抱える問題やニーズを発見し、実プロジェクトとして組み立て、その解決に取り組むとともに、新たな価値の創造に挑戦します。
--------------	---

博士論文	研究テーマに応じた主題を設定し、調査・分析・論文作成等のプロセスを通じて、主題の特性を考慮した研究の方法論を修得します。研究の成果は、博士論文としてまとめ上げます。
------	--

修了要件

博士（後期）課程における修了要件は、次のすべてを満たすものとしています。

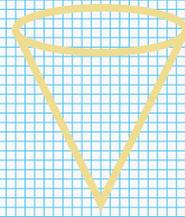
- ・本大学院修士課程に3年以上在学すること。
- ・本大学院修士課程の授業科目について12単位以上を修得すること。なお、他大学大学院等における修得単位については、その内容により、本大学院博士（後期）課程における修得単位として認められる場合があります。
- ・研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。
- ・審査付投稿論文を必要数以上発表していること。

キャリアパス

大学教員、研究者
外国人留學生の場合
社会人の場合
自国の政府機関、大学教員
自機関での専門的な職位

長岡造形大学大学院では、博士（後期）課程を中心に、社会人、外国人留學生を含む多様な学生を受け入れます。社会人入学試験による入学の場合、実務経験を勘案し、特別プロジェクト研究演習の履修が免除されます。

自らと向き合い 「研究」の深化に挑む



廣田真治 2009年度 修士課程修了
建築の地層へ
双対を成す自然物と人工物の
積層曲面体モデルの研究



渡邊葉月 2015年度修了
鍍金技法による器形態を用いた表現の研究



日本建築学会優秀修士論文賞受賞 (2014年度)
川崎香織 2013年度修了
歴史ある町並みをどう受けつづか
—修業のあり方をさぐる—

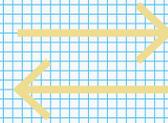


星野桂太 2016年度修了
ペンタプレットを用いたイラストレーション表現の追求



中森幸太 2014年度修了
ウエイト移動によって一人でも本来の性能を発揮できるサイドカーの研究
Solo Side Car 2030

互いに刺激を受けあうことで 研究はさらに進化する



学内の施設・設備すべてが研究活動の材料です。

アトリエ、工房、展示スペースなどあらゆる空間を活用し、研究活動を行うことができます。

さらに、学外に飛び出せば四季折々の「長岡の地」が研究フィールドを広げます。

各領域の一線で活躍する教員

修士課程5領域、博士(後期)課程1領域の研究指導を担当する教員には、豊富な研究実績と実務経験をもつ、第一線で活躍する教員をそろえています。また、多くの教員は学部と大学院の両課程を担当しており、学部と相互に連携した教育研究体制を構成しています。

指導教員の詳細は大学ホームページよりご覧ください。



大学院研究室

大学院生には一人ひとりに研究スペースが割り当てられます。研究スタイルや専門分野に合わせて学生同士で自由にレイアウトを変更できるように可動式の家具を用意しています。

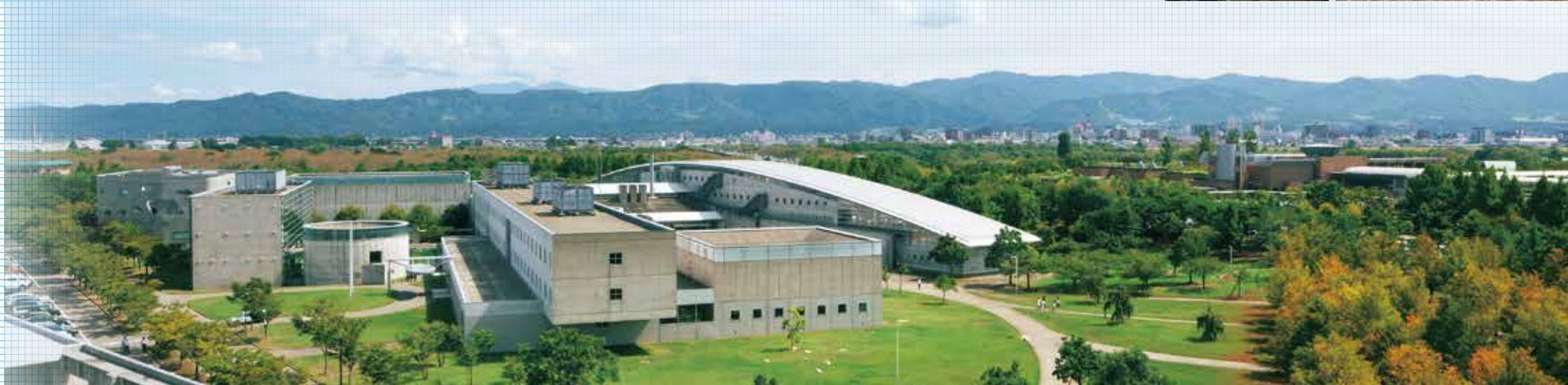
また、PBL科目や研究などで共同作業を行うためのスペースを用意し、研究領域を超えたコミュニケーションを行うことができます。



プロトタイプングルーム

修士課程の演習科目や研究活動で使用する3Dプリンタやレーザーカッターなどの機材を備えています。

試作やラピッドプロトタイプング、そして作品の制作に活用することができます。



入学試験

アドミッションポリシー 長岡造形大学では次のような人物を求めます。

- 修士課程** 1. 「社会人基礎力」「構想力」「造形力」の素養を幅広く身に付け、優れた人格を有する者
2. 高度な知識・技能の修得に立脚し、地域・社会をフィールドとする実践的な研究への意欲がある者
3. ものごとを深く洞察し、新たな創造力により問題解決に当たる意欲がある者

博士(後期)課程 デザインの領域を総合的に理解し、地域及び国際社会とのつながりを視野に入れた自立した研究者となるための能力と研究意欲がある者

修士課程 入学試験		前期	後期
一般入学試験	出願期間	2018年8月20日(月) - 8月24日(金)	2019年1月21日(月) - 1月25日(金)
	試験日・会場	2018年9月8日(土) 長岡造形大学	2019年2月16日(土) 長岡造形大学
	合格発表日	2018年9月14日(金)	2019年3月1日(金)

博士(後期)課程 入学試験		前期	後期
一般入学試験	出願期間	2018年8月20日(月) - 8月24日(金)	2019年1月21日(月) - 1月25日(金)
	試験日・会場	2018年9月8日(土) 長岡造形大学	2019年2月16日(土) 長岡造形大学
	合格発表日	2018年9月14日(金)	2019年3月1日(金)

入学検定料・授業料

修士課程	入学検定料	30,000円	
博士(後期)課程	入学料	長岡市内在住者	141,000円
		上記以外	282,000円
	授業料(年額)	535,800円	

日本学生支援機構奨学金や授業料等免除などの経済的なサポート制度があります。

日本学生支援機構奨学金

第一種(無利子)奨学金

修士課程: 月額50,000円・88,000円から選択

博士(後期)課程: 月額80,000円・122,000円から選択

第二種(有利子)奨学金

月額50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

・「長岡市内在住者」とは、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上長岡市内に住居を有する者です。

・本学造形学部卒業者は修士課程の入学料を免除します。

・本学大学院修士課程修了者は博士(後期)課程の入学料を免除します。

国際交流

国際的視野をもった人材を育てることを目的に、提携大学との国際交流を推進しています。短期留学やワークショップによる交流を行っています。

[提携大学] ハワイ大学建築学部(米国・ホノルル市) / ノリッチ芸術大学(英国・ノリッチ市)
東西大学(韓国・釜山) / 漢陽大学(韓国・ソウル) / トリアー応用科学大学(ドイツ・トリアー市)

※東西大学・漢陽大学とは大学院短期留学プログラムによる半年間の交換留学制度があります。また、東西大学とは要件を満たす場合、日本と韓国の修士学位を同時に取得することができる複数学位取得制度があります。

交通案内

路線バス

JR長岡駅から大手口2番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗り、約15分。「長岡造形大学前」下車、徒歩約1分。

車の場合

長岡北スマートIC
(2017年3月開通)
東京方面から: 長岡北スマートIC出口から信号を左折し、蔵王橋方面へ進む。次の信号を右折し、次の交差点を左折
新潟方面から: 長岡北スマートIC出口から信号を直進し、次の交差点を左折

長岡IC
長岡ICから国道8号線を長岡市内(北)へ向かい、車で約5分。蓮濁交差点を左折、次の信号を右折



公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

入試課 〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地
Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343 E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp
<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>

